

オープンスタンダードの活用により、アビオニクス領域におけるサイバー時代への加速を支援

Wind River Linuxが The Open GroupのFACE Technical StandardにLinuxとして初の適合を達成

自律型インテリジェントシステムへと急速に変化している航空宇宙・防衛産業

デジタルトランスフォーメーションは、航空宇宙・防衛産業に大きな変革をもたらしています。この変革は、従来の陸・海・空の領域はもちろん、昨今では宇宙およびサイバー領域にも及んでいます。そのため、航空宇宙・防衛産業では、セキュリティを重視したリアルタイムでインテリジェントな自律型システムの開発に注力するようになってきています。また、最先端のテクノロジーや機能を迅速にデプロイするとともに、ソフトウェアの再利用によるコストの抑制が求められています。

堅牢性、相互運用性、移植性と高いセキュリティが求められる、ミリタリー向けのコンピューティングシステム

オープンシステムアーキテクチャにより、システムのコスト削減や最新機能の迅速な取り込み、容易なソフトウェアの再利用が可能になります。このような目的でThe Open GroupのFuture Airborne Capability Environment™ (FACE™) Consortiumは、FACE Technical Standard規格を策定しました。このアビオニクスのオープンスタンダードにより、共通のオペレーティング環境を使用した多岐にわたるミリタリー向けシステムでの使用を可能とする幅広いアプリケーションの設計、開発、運用が可能となります。これまでFACE Technical Standardに適合したLinuxオペレーティングシステムは存在していませんでしたが、2020年5月に、Wind River Linuxが業界で初めてFACE Technical Standardの適合を達成しました。

Wind River Linux、Linux業界で初めてFACE Technical Standardに適合

Wind River Linuxは、FACE Technical Standard Edition 3.0のOSセグメント (OSS) におけるGeneral Purpose Profile (GPP) に適合した業界初かつ唯一のオペレーティングシステムで、(航空宇宙・防衛システムの) 開発者に、柔軟で安全性の高いオープンなミリタリーアビオニクス向けオペレーティングシステム環境を提供します。ウインドリバーは、FACE検証機関であるTES-SAVIと協力し、Wind River Linuxの厳しいFACE適合認定試験を完了しました。

FACE適合認定を取得したWind River Linuxは、下記に掲げるThe Open GroupのFACE Consortiumが定める目標に達成しています。



アビオニクスシステムでオープン
スタンダードを活用する
アプローチの標準化

FACEシステムの
実装コストの低減

堅牢なアーキテクチャをサポートし、高品質なソフトウェア
開発を可能にする規格

機能の再利用につながるスタ
ンダードインタフェースの活用

The Open GroupのFACE Consortiumの目標

FACE Consortiumは、これらの目標の達成に向けて、オープンスタンダード、ベストプラクティス、ガイダンスドキュメント、ビジネスモデルなどの開発と統合に取り組んでいます。

複数のFACEシステム間
およびベンダー間をまたがる
アプリケーションの移植性

FACE適合製品の調達

より高度な機能を部隊に
迅速に提供

アビオニクス産業における
イノベーションと競争力の向上

次世代のミラタリー向けアビオニクスシステムに最適な Wind River Linux

Wind River Linuxによって、内製のLinux（Roll-Your-Own Linux）で発生するリスクや負担なく、信頼性の高い、高性能で安全なLinuxベースの商用機や軍用機のシステムを構築、デプロイすることができます。Wind River Linuxは、Docker、Kubernetes、ビルド済みコンテナ、ツール類などをサポートする最新のクラウドネイティブフレームワークに対応しており、クラウドネイティブソリューションの活用やデプロイをサポートします。

Wind River Linuxを採用することで、標準サポート期間が終了した後も、お客様はプラットフォームを長期にわたってサポートすることが可能です。ミラタリー向けのアビオニクスシステムは何十年にわたって使用されることが多く、ウインドリバーは、セキュリティアップデートや脆弱性アップデートを含む長期的なサポートおよびメンテナンスを提供しています。企業は、ウインドリバー製品を採用することで、自社で開発した場合と比べて、開発コストやメンテナンスコストの大幅な削減と、開発期間の短縮が図れます。なお、評価やPoC（proof-of-concept）向けに、Wind River Linuxの無償版（ダウンロード版）を提供しています。

Wind River Linuxの詳細は、以下をご覧ください。

www.windriver.com/japan/products/linux/

製品に関するご質問は、お問合せフォームよりご連絡ください。

www.windriver.com/japan/contact/